

沖縄の幼児のための野外活動プログラム

青空ようちえん

The Outdoor Kindergarten



2009
プログラム
レポート

森、海、川、野原、花、公園…
沖縄のいろんな自然を遊ぼう！

 日本財団 助成事業
The Nippon Foundation

ちびっこ達に贈る、公園から海まで沖縄の自然あそび

3才からの 野外あそび！

菜コのわくわく自然教室
～ NPO 法人 国際自然大学校 沖縄校 ～





目次

Contents

◎はじめに	1
◎「青空ようちえん」とは？	2
◎活動レポート	5
公園あそび／海辺あそび／イノーあそび／川あそび／ 野遊びカフェ／台風あそび／たき火あそび／ クリスマスクラフト／ハイキング／雨の日あそび／ 青空キャンプ（1泊2日）	
◎おわりに	18





はじめに

Introduction

子ども達の成長には、さまざまなことを直接経験する“体験活動”が欠かせません。遊具やおもちゃと違い、森や海の中には、何一つとして同じ色形の物はありません。毎日違う表情を見せてくれます。そうした多様性をもつ野外や自然の中での体験には、子ども達の感性や体力など「生きる力」を育む豊かな要素が含まれています。

幼児期は、様々な環境や他者との直接的、間接的な関わりの中で小学校以降に育成されていく「生きる力」の基礎を心身ともに養う時期とされます。この時期から野外で体を動かし、自然の中で仲間と共に遊ぶ経験を豊富にしている子は、小学校に上がった後、前向きに課題に取り組み、様々な力をつけていく力が優れているという報告も聞かれます。2、3歳のちびっこから自然の中に飛び出すことが求められているのです。

しかし、幼児期における自然体験は小学校以上のそれと比べても浸透しておらず幼稚園や保育園だけでなく、家庭においてもなかなか一歩が踏み出せない傾向があると言われます。

本誌は、当自然教室の幼児向けプログラム「青空ようちえん」の1年間をレポートし、沖縄の様々なフィールドや季節ごとに、幼児期のちびっこ達との「あそび」を紹介しています。これにより、幼児期の自然体験活動に取り組む実践が広がり、幼児教育関の現場で活動されている方、子育て中の親御さんが子ども達と野外に飛び出す一歩につながれば幸いです。

2010年5月

国際自然大学校沖縄校

ネコのわくわく自然教室 統括

丸谷 由



青空ようちえんとは？

「青空ようちえん」は、ネコのわくわく自然教室が主催する幼児向けの自然体験プログラムです。沖縄県内、主に那覇市を中心とする都市部の幼児期子ども達（3歳～年長）とその父母を対象に、沖縄本島内の様々なフィールドへ出かけ、体を動かしながら自然の中で遊ぶ機会を提供しています。親子で一緒に参加できる日帰り体験から、ちびっこだけで1日遊ぶチャレンジ体験、親子で1泊2日のキャンプに挑戦するプログラムまで、2009年度は月に1回の頻度でプログラムを実施しました。

青空の下で走り回って汗をかいたり、虫に触ったり、泥だらけになったり、いろんなことをはじめて経験するこの時期に、多様な自然と多様な感性と触れあわせてあげたい。この理念に基づいて、都市部の公園から森、山の中の川、サンゴ礁の海まで多岐にわたるフィールドに出かけます。また、親子参加の際は年上の兄姉や赤ちゃんも一緒に参加でき、専門スタッフと大学生ボランティアと共に、多様な人々に囲まれ、たくさんの感性に触れながら遊び、成長していける場を目指しています。

「森のようちえん」

幼児期子ども達を対象とした野外活動は、一般には「森のようちえん」と呼ばれ、近年日本各地で広がりを見せています。企画募集のプログラムから、特定の園舎や敷地を持たずに自然環境の中で年間を通して保育活動をしている幼稚園や自主保育などの団体もあります。このような活動は半世紀前にデンマークで始まったとされ、その後ドイツや北欧を中心に世界各地へ広がっていきました。

青空ようちえん
2009年度

REPORT

活動レポート



Lineup

- #01 公園あそび
- #02 海辺あそび
- #03 イノーあそび
- #04 川あそび
- #05 野遊びカフェ
- #06 台風あそび
- #07 たき火あそび
- #08 クリスマスクラフト
- #09 ハイキング
- #10 雨の日あそび
- #11 青空キャンプ



青空ようちえん



公園

#01 Park

日程：2009年4月26日（日）

am10:00 - pm15:00

天気：雨→曇り→晴れ

会場：末吉公園（那覇市）

対象：親子参加



雨が降ってきた！
でも、カッパを着れば
ヘッチャラだね！



今日は、家の近くの公園で遊ぼう！と、
思ったら雨が降ってきた。でも大丈夫、カ
ッパを着たら準備万端。

春の公園は草花で溢れている。まずは葉
っぱや花を“におい”で探す遊びをしながら公園を散歩しよう！クチナシ、サンニン
、クスノキ…いくつ見つけれられるかな？

お腹が空く前に、森の材料でランチを作
ってみよう。葉っぱを赤い葉っぱはハム、
黄色い枯れ葉はスパゲティ、緑の細い葉っ
ぱはほうれんそう。細かくちぎってお皿に
盛ったら、ハムスパゲティの出来上がり！
そっくりを見つるのが最大の秘訣。



春の草花であそぼう！



ランチのできあがり！
今日のメニューは、
ハムスパゲティ★

いただきま〜す！
枝でおはしを、花の色
水でスープも作ったよ。



がんばれ〜！
2歳の子ビちゃんも
一生懸命ついていく。



太陽が戻ってきた午後は、葉っぱと
木の実を使ってキーホルダー作り。厚
い葉やマメにきれいに色を塗って、ひ
もを通して自分だけのお土産の完成！
お母さんにプレゼントしようかなあ。

見て！向こうではお猿さんみたいに
木登りをしているよ。お兄ちゃんに負
けないように頑張ろう！



Activity Points *

◎晴れの日でも「カッパ」は必需品。沖縄の天気は変わりやすい。
一緒に遊ぶ大人もカッパは忘れずに。

◎ちょっとした小道具があると、あそびがどんどん展開できる！
におい袋、紙皿、ビニール袋、ポスターカラーマーカー、麻ひも…

青空ようちえん

海辺

#02 beach

日程：2009年5月30日（日）

am10:00 - pm15:00

天気：快晴

会場：吉の浦会館（中城村）

対象：親子参加

沖縄では5月に入れば海遊びに出かけられる。豊かな海に面した沖縄の子ども達には、小さい頃からたくさん海辺で遊ばせてあげたい。まずは、遠くまで出かけなくても、住んでいる街のすぐ近くにある砂浜でも十分楽しめるはず。

海に入る前に、日焼けと怪我予防のために長袖長ズボン、ライフジャケットを着きましょう。サンゴや岩で足を切るのでゾウリは避けて、ウォーターシューズや上履きを履けば思いっきり動くことができます。

水辺に慣れない子は、大人の体を船にしながらかゆりと、まずは水の気持ちよさから体験してみよう。少し慣れてきたら、水を掛け合ったり、生き物を探ししてみよう。箱メガネがあるとテンションUP！



海で泳いで、寒くなったら砂のおふとん。温かくて気持ちいい！

海の水と砂を楽しむ！



タコクラゲは、毒が弱いから触っても大丈夫なんだよ！



ふたりで一緒に山をつくらうな！水を入れたらかたくなるんだよ。



こんなに採れたよ！食べられるを探して食べるのは大興奮の遊び。

この日はタコクラゲを大量に捕まえた。プニプニ…初めての感触にみんな興味津々。寒くなって震えている子が出たら、砂に埋めるのが一番！砂の温かさを知ったら砂まみれも嫌じゃなくなるから不思議。ただし大人も砂まみれになる覚悟がないとダメ！砂遊びは、そのまま夕方まで続けました。

ほっぺたがとけそう★みんな大好き、焼きマシュマロだ！



Activity Points *

- ◎水辺の遊びでは、子供も大人もライフジャケットを必ず用意したい。2,3歳の幼児から着用できるモデルもあるので役立つアイテム。
- ◎海辺で遊ぶ時は、潮の満ち引きを事前に調べておこう。干潮の時間帯にはいろいろな生き物と出会うことができる！



青空ようちえん



イノ

#03 tide pool

日程：2009年6月21日（土）

am9:00 - pm16:00

天気：快晴

会場：恩納村の海岸

対象：子どものみ（幼児）



温泉みたい～★
イノに溜まっている
海水は温かいんだ。

砂浜遊びで海になれたら、今度はイノに出かけてみましょう！岩場だらけで危ない印象が強いけど、きちんと長袖、長ズボン、ライフジャケットを着ければ大丈夫。一度イノで遊べばその生き物の多さに病みつきになること間違いなし！

そこで役立つのが「箱メガネ」。シュノーケルはまだ無理というちびっ子でも、きれいな水の中をのぞけるアイテムだ。小さなプラスチックのケースでも代用できます。

水中をのぞいてみると、ウニ、ナマコ、色とりどりの小さな魚、カニ、エビ…。たくさ



ナマコの水鉄砲！
ぎゅってにぎったら
水が飛び出すんだよ。

洞窟を発見！
イノのまわりには
石灰岩の洞窟も多い。
気をつけて入ろうね！



んの生き物が迎えてくれる。大潮で遠くまで浅瀬となったこの日は、タコやヒラムシ、イソアワモチなど、なかなか見られない面白い生き物にも出会ってみんな大興奮でした。岩の上からの飛び込みにも挑戦。最初は恐かったけど、勇気を出して飛び込めました！

Activity Points *

- ◎生き物が豊かなイノには、触ると死に至る危険な生き物もいます。必ず事前に子ども達と一緒に触ってはいけないものを確認しよう！
- ◎イノ遊びは、潮の満ち引きが重要。最干潮時間の前後2時間程度が一番安全に楽しめます。大潮の日はさらにたくさんの生き物に会える！



「イノ」とは？

潮が引くと岩やサンゴに囲まれた小さなプールができる海岸のこと。外洋の波が入らず穏やかで、生き物も豊富。ちびっこ遊びにぴったりの沖縄ならではの遊び場。

イノの生き物と遊ぼう！



かっこいぞ～！
ツノがいっぱいはいえた
シカクナマコを発見。

青空ようちえん

川

#04 river

日程：2009年7月5日（日）

am10:00 - pm15:00

天気：晴れ

会場：平南川（大宜見村）

対象：親子参加



でっかい！ボウズハゼ。
顔をよく見てみると、
ほんとうに坊主みたい。



梅雨が明けた7月には、きれいな水の流れる川に出かけてみましょう。沖縄にもちびつ子を連れて行ける川がたくさんあります。ちょっとしたジャングルの様な亜熱帯の森と、川の生き物達が迎えてくれます。

服装、持ち物は海あそびと一緒に。特に役立つアイテムのは「虫アミ」だ。この日も早速、虫アミを手に川の中を進んでいくと大きなボウズハゼ、かわいい顔のヨシノボリを捕まえた！ジャバジャバ水の中を走ってはすぐに逃げてしまう。そうと近づくと捕まえるポイントだ。

エビを捕まえたかったら、岸辺の水の中に垂れた葉っぱをアミで探ると、すぐにちいさなエビが捕まえられる。

初めは冷たい水に、おっかなびっくりだ



川原の絵の具づくり★
石をこするといろいろな
色の絵の具ができる！



水の中に卵を産んでいる
ハグロトンボのお母さん
に会ったよ！



上流まで行かなければ
赤ちゃんを連れてのんびり
川あそびも楽しめる。

った子ども達も、遊び方を少しずつ覚えていくと、どんどん前に進めるようになっていきました。でも、ずっと水中は寒くなる。川原の石で色とりどりの絵の具を作って、フェイスペイント大会をはじめよう！赤、黄、白、いろいろな色が作れるぞ。あ、お父さんが顔が真っ白のおばけに変身しちゃった！



みんなで捕まえた
小さなエビは、フライパン
で炒めておやつに！

Activity Points *

- ◎川の水はとても冷たく、海と違いすぐに寒くなってしまいます。こまめな休憩と温かい飲み物を持参がお勧め。ライフジャケットも忘れずに！
- ◎水質のきれいな水辺には「ブヨ（ブユ）」という小さなアブの仲間がいる。咬まれると蚊よりも腫れるので長袖、長ズボンで遊びましょう。

青空ようちえん

野原

#05 field

日程：2009年9月26日（土）

am10:00 - pm16:00

天気：晴れ

会場：浦添城趾（浦添市）

対象：親子参加

野遊びカフェ開店！

赤ちゃんはお母さんとシートでのんびり、元気な子はお父さんと探検に出かけよう！



シートを広げて、絵本を並べて、お茶とお菓子を用意したら青空カフェの開店です。



一年を通して、気持ちよく晴れた日は絵本とお茶セットを持って、野原や公園に出かけましょう。草の上にシートを広げればあっという間に「青空カフェ」の開店です。

野原の楽しみ方は、虫取りや駆けっこなどアクティブな遊びだけではなくありません。青空の下でのんびりおいしいコーヒーを飲んだり、寝袋に寝転んで子ども達と一緒に絵本を読んだり、簡単なおやつをその場で作ったり…。アイデアと道具次第で、楽しみ方はいろいろあります。



葉っぱのスタンプ集め。いろんな形の葉っぱを画用紙に押ししてみよう！

おやつは、その場で作るのが楽しい。棒卷パンは簡単でおいしい。

今日は、葉っぱを使ったポストカード作りもしてみました。用意するのはスタンプ台と画用紙だけ。いろんな葉を組み合わせ、自由に形を押ししていきます。



おやつは、ホットケーキミックスで作る棒卷パン。ビニール袋の中でこねれば手を汚さなくて作れます。ムラサキカタバミなどの花を混ぜると味と色のアクセントにもなって楽しい。



Activity Points *

- ◎野原でのんびりする時に揃えたいのが、絵本、蚊取り線香、寝袋。青空の下、寝袋にくるまって読む絵本はとっても気持ちがいい。
- ◎キャンプ用の携帯ガスコンロと小さなナベがあると、お湯をわかしたり、パンを焼いたり、その場でつくるおやつは子ども達に大人気。

青空ようちえん



台風

#06 typhoon

日程：2009年10月25日（土）

am10:00 - pm16:00

天気：台風接近中（暴風域ではない）

会場：泡瀬コミットクラブ（沖縄市）

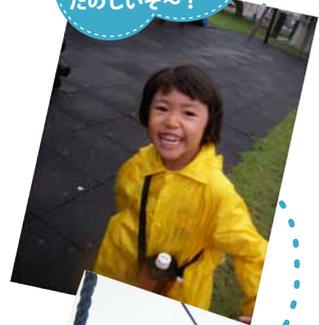
対象：子どものみ（幼児）

今日は朝から風がビュービュー吹いている。大きな台風が近くを通過しているからだ。でも、どうやらこれ以上近づいては来ない様です。予定していたダム遊びには行けないけど、カッパを着込んで事務所の周りを探検に行こう！きっと台風だからこそ面白いことが待っているはず。

台風の雨は、強くなったり、パッとやんで風だけになったり、ころころ変わる。強く降っているときは、カッパをバタバタたかかっているみたいで面白い！公園にできた大きな水たまりを発見。葉っぱで船を作って浮かべると今日はすごいスピードで進んだよ！水



お店の屋根から漏れる雨粒も今日は大きい！カッパに当たる音が、たのしいぞ～！



雨と風をたのしもう！



今日はカッパが大活躍。台風の風に飛ばされないようにつかまれ～！



のかけ合いだっていくらでもできる。こんなに水を使っても怒られないのは今日だけかも知れないね。

時々吹く強い風に飛ばされないように気をつけながら、台風の力強さと不思議な雨の降り方を体感しました。

港の市場を探検★みんなで選んだお魚を買ってお昼ご飯にした。



はっけよ～！雨探検の途中で見つけた葉っぱでお相撲だ。



おやつは、お玉で作るべっこうアメ。自分で好きな形に作れる！



Activity Points *

- ◎雨が降っていても、カッパを着ていれば楽しく遊べる。ちっちゃい子でも「ズボンタイプ」のカッパを着ることと濡れずに動けます。
- ◎天気によって臨機応変に遊び場を変えるのも野外遊びのコツ。台風は天候の急変に注意！暴風域など強風の中で遊ぶのはやめましょう。



青空ようちえん



たき火

#07 fire

日程：2009年11月15日（日）

am10:00 - pm15:00

天気：曇り

会場：恩納村の海岸

対象：親子参加



アツアツの焼きイモの
おいしさは何度食べて
も飽きることがない。



おいしかった焼きパイ
ナップル。アルミホイル
にくるんで、何でも
焼いてみよう！



たき火に火をつけるの
も子ども達の仕事だ。
マッチを使ってうまく
つけられるかな？

子ども達が大好きな「たき火」と「焼きイモ」の日がやってきました。日常で火を使うことがほとんどなくなってしまった今の時代せめて遊びを通して、小さな頃から火の暖かさ、大切さ、そして恐さを教えてあげたい。

難しい事は言わなくても、薪を組んで火をつけるだけで自然と子ども達が集まってくるから不思議なものです。初めは恐がっていた子も火の暖かさ、やわらかさに次第に笑顔になってい

焼いて、食べて暖まろう！

きます。

たき火の楽しさは、何よりおいしいものを焼いて食べること！今日はサツマイモ、マッシュマロ、パイナップル、ソーセージ、ホットケーキミックスで作る棒卷パン…。いろんなものを焼いて食べました。中でも、アルミホイルにくるんで丸ごと焼いたパイナップルの甘さには、みんなびっくり。午前中の海遊びで濡れた体も、あっという間にポカポカになりました。

沖縄では、
11月でも海が暖かい。
もちろん今日も海に
入って遊びました！



初めて火に触れる子は
おねえちゃんと一緒に
まずは暖まることから。

Activity Points *

- ◎たき火をした後はたつぷり海水をかけて、スコップを使って跡を残さないように埋めましょう。燃え残りのカスはきちんと持ち帰ろう！
- ◎軍手は木綿 100% の物を用意しましょう。市販の多くはポリエステルなどが含まれており、木綿と違い溶けて火傷をする危険があります。

青空ようちえん



クリスマス

#08 christmas

日程：2009年12月23日（水）
am10:00 - pm15:00

天気：晴れ

会場：末吉公園（那覇市）

対象：親子参加



沖縄は12月でも晴れると汗ばむくらいの春先の陽気。野原でのクラフトが気持ちいい。



Activity Points *

- ◎ツルや木の実、花など森の素材を集めに行くときは「ハサミ」が役立ちます。歩くときは袋に入れるなど、手に持ったままにしないように！
- ◎この時期でも蚊取り線香と虫除けスプレーは忘れずに！草むらや茂みには、棒などでつつきハブがないか確認してから入りましょう。



せ〜のっ！
みんなで力を合わせて
太いツルを集めよう。

森の素材で、 クリスマスの飾り作り

今年のクリスマスの飾りは、森の素材を集めて自分で作ってみましょう。一年中暖かい沖縄の森は、12月になっても緑豊か。一步森に入ればたくさんの木の実や葉っぱ、色とりどりの花を集めることができます。

まずは、クリスマス・リースの骨組みとなるツル探しから始めよう。木から垂れ下がっているツルを力を合わせて引っ張るんだ！採ったものを円く編み込めば骨組みの完成。円だけでなく、星形、ツリー形、ハー



丸く編んでリースにしたツルに集めた木の実や葉っぱをつけていこう。

ト形などいろんな形にも挑戦してみよう。

形ができれば、次は好きな木の実や葉っぱをボンドでくっつけていく。かわいい木の実をつける子もいれば、生け花の様に色鮮やかな花をつける子も。向こうでは、星のリースが手裏剣になったりしている！子ども達の発想力にはかないません。



お姫様みたい★
カラフルな木の実で
作った冠を作ったよ！



森を歩けば、沖縄ならではの木の実や花がたくさん見つけれられる！

青空ようちえん



ハイキング

#09 hike

日程：2010年1月30日（土）

am9:00 - pm16:00

天気：晴れ

会場：浦添城趾周辺（浦添市）

対象：子どものみ（幼児）



まずは、公園の中に張ってあるカルタ探しでウォーミングアップ！

あの丘を越えて進もう！

沖縄の冬は、ハイキングなど遠出するのにちょうどいい季節。お弁当と着替えをカバンに詰めて、あの丘の向こうまで行ってみよう！虫アミやおやつを持って行くのも忘れずに。

歩き始めたら早速、倒木のシーソーを発見。みんなで乗ってみよう！向こうのチームはバツを追いかけるのに霧中になっているみたい。満開の桜の木の下を抜けて、見晴らしのいい丘の上まできたらお昼ご飯だ。

景色を見ていたら、遠くの方に川が流れているのを見つけた。よ～し、午

後はその川まで探検だ。

川までは結構遠かった。城趾の丘を横切り、ものすごい数のお墓の中を通り抜けて、犬に吠えられてダッシュで逃げたり、道路を渡ったて、坂を下って橋を渡って、ついに川原に到着！

みんなもうヘトヘト？と思いきや水遊びが楽しそう。お～い、帰り道も歩くのは知ってるかい？考えてないだろうなあ…。でも、大丈夫。みんな元気に解散場所まで歩き通しました！



眺めがいいよ～！お弁当は木の上で食べてみよう。桜の花もきれに見える！



途中で見つけたムラサキカタバミの花。すっばくておいしい人気のおやつだ。

倒れかけた木がシーソー遊びだ。みんなで乗ってもビヨ～ン！ビヨ～ン！



川にたどり着いたよ！アミを持ってきてよかったね。グッピーをつかまえた！



2歳のちびっこも一緒だったけど、今年の青空で一番歩いた1日でした。



Activity Points *

- ◎予定になくても歩いている途中で水辺を見つけて水遊びが始まることも。晴れていても1回分の着替えは必ず背中に背負っていきましょう。
- ◎どの時期でも濡れたり、疲れたときには寒くなることもある。そんな時に役立つのがカッパ。防寒着にも使えるので晴れでも持っていたい。

青空ようちえん

雨の日

#10 rainy day

日程：2010年2月7日（日）

am10:00 - pm15:00

天気：雨→小雨

会場：琉球大学キャンパス（西原町）

対象：親子参加



雨の日でも、芝生滑りはできる！持ってきたブルーシートですべるすべる！

雨と遊ぼう、水で遊ぼう！

みて～、きれいでしょ。雨で落ちた桜の花を集めてみました。



大学の中だけど、ハブには注意しようね。こんな看板もあります。



木の実を拾ったり、持ち物がどんどん増えていく。バナナの木の下の通り抜けよう。

沖縄の冬場は雨が多い。雨だから残念と言うのではなく、発想の転換、雨の日だからこそできる遊びに出かけましょう！でも、体が濡れたら寒くて遊べなくなるので、カッパはしっかり準備しよう。

今日は大学の中で雨遊びだ。特に楽しいのが、大きなブルーシートを広げて作るウォータースライダー。雨で濡れているのと、カッパを着ているからとっても滑る！スリル満点で何度も挑戦したくなってしまった。

桜の木の下では、きれいな花びらがたくさん落ちている。今日はちぎらないでも、バケツ一杯集められるね！雨でできた小川に葉っぱで船を作って流したり、大学の中にいるいろんな生き物に会いに行ったり。カエルさんも、カタツムリさんも雨の日だから遊んでくれたんだ。よかったね！今日は雨降りです★

よお～し！次はどこに行こうかな？！まだまだ遊び足りないぞ～。



遊ぶのも、お弁当もずっと雨だったけど、たくさん歩きました。

Activity Points *

- ◎カッパがあれば雨の日だからこそこの遊びができます。濡れた場所で座ったり滑ったりするためにも「ズボン」タイプのカッパも必ず用意しよう。
- ◎バケツ、水を通さない大きなシート、ビニール袋、虫アミ、水鉄砲など雨や水を遊ぶ道具を用意していくと、雨の日が楽しい日に変身！

青空ようちえん

キャンプ

#11 camp

日程：2010年3月20日（土）
 ～21日（日）
 【1泊2日】
 am10:00 - pm15:00
 天気：晴れ→雨→晴れ
 会場：多野岳キャンプ場（名護市）
 対象：親子参加



暑すぎない冬から春にかけては、ちびっこ親子キャンプするのに最適な季節。

テントをたてよう！



DAY 1

わからないベグの打ち方は、ネコクラブ先輩のお姉ちゃんに習おう！

できた～★
 今夜はここがみんなのお家になるんだよ。

いよいよ、ちびっこキャンプがやってきました。今回のキャンプは「森」がテーマ。山の上のキャンプ場に1歳の赤ちゃんから、青空ようちえんのメンバー、お姉ちゃんお兄ちゃん、お母さんたちまで20名が揃いました。

まずは今夜のお家になるテントを建てよう。初めてテントを見る子は、カバンの中身がみるみるお家の形になっていくのに大興奮！5歳でも何度もテントを建てたことがある子は、どんどんベグを打っていました。

お弁当を食べたら、森のたんけんに出発しよう。桜の木についたサクラランボの実を発見。ちょっとすっぱいけど、みんなのおやつだ。ヒカゲヘゴの木に大きなキノボリトカゲもいた。お兄ちゃんから教わったススキの葉っぱのロケット飛ばしも面白かった！



森のたんけん



大きなキノボリトカゲを捕まえた！恐竜みたいでかっこいい！



よいしょ！ポールは硬いから、みんなで力を合わせて曲げるんだ！

Activity Points *

- ◎はじめてのキャンプには、海辺よりも森の中のキャンプ場がお勧め。特に春先は暖かいけど日差しも暑すぎず、赤ちゃんでも過ごしやすい。
- ◎テントや寝袋で寝るのが怖い…という子は、数日前からお家の中で寝袋で眠って慣れていこう。いつもの枕や人形を持ってくるのもお勧め。

手打ちうどんづくり!



みんなで作ったうどん。くっついちゃったけどおいしかった!



Activity Points *

- ◎懐中電灯は「ヘッドライト」がお勧め。幼児でも頭につけられて、手が空くので転んだときや、片付けをするときにとても便利です。
- ◎おねしょが心配な子はおむつパッドを用意。でも寝袋は簡単に水洗いできるので、キャンプでのおねしょは堂々としても問題なし!

夜のあそび☆



夜はライトを持って探検に行った。たくさんのカエルを見つけたよ。

DAY 2

夕食のメニューは、みんなの手作りうどん。すいとんみたいになっちゃったけど、粉をこねたりちっちゃい子でもできるから面白い。夕食後、暗くなってからライトの灯りを頼りに夜の探検にも出かけよう。キャンプじゃないとできないのしいイベントだ。

お家じゃないので泣いちゃう子もいるかな? と思いきや、どの子も直前まで遊んで、疲れ果ててぐっすり眠っていました。

2日目は、たき火をつけて焼きイモを作ったり、森の素材をつかってキーホルダー作りで遊びました。この日は暖かい春の陽気、キーホルダーに絵を描きながら、草の上でそのままお昼寝をしてしまう子もいるくらいでした。

最後に、もう一度みんなで力を合わせてテントをたたんだら、あっという間の2日間の青空キャンプもおしまいです。

木の枝でキーホルダーを作ろう!



真ん中に穴を空けてひもを通してぐるぐるメガネのできあがり〜♪



ピラミッド! 2日間ですっかり仲良くなって、帰るのがさみしいくらいだね。



テントをひっくり返して...



テントはたむ前にひっくり返して、乾かそう。ここだけ見たらびっくりするはず!?

おわりに

Epilogue

野外、自然の中で遊ぶとき、子ども達は実にたくさんのことを学んでいきます。見ること、触ること、挑戦すること、感じること、そのすべてが自分への自信につながっていきます。

初めは、お母さんと離れることだけでも泣いてしまっていた。泣きながらも、きれいな花を見つけ、森の中でトカゲに触り、サンゴ礁の海に目を輝かせるようになっていきました。心の中からどんどん好奇心が湧いてくるようになるのです。勇気を出して挑戦した初めて包丁で野菜を切る感覚、マッチで火を付ける感覚、いつまでもその手に残っていくことでしょう。

そうした子ども達の“はじめて”に満ちあふれた青空ようちえんで、もうひとつ伝えたいこと、そして青空ようちえんの活動を支えているものがあります。それは、「仲間と共に遊ぶ楽しさ」、「様々なひとに見守られながらすごすことの大切さ」です。青空ようちえんには、幼児だけでなく、その兄姉、父母、さらに数多くの大学生スタッフが集まります。子ども達はそのすべてに見守られながら、そして刺激を受けながら遊び、様々なことを学んでいきます。

野外、自然の中には限りない遊びと学びの要素が含まれていますが、そこを楽しいも、価値ある場にするためには仲間との共感と、多くの見守る存在が必要です。



中でもボランティアで関わり、青空ようちえんを支えてくれている大学生の存在はとても大きいです。子ども達の先輩として時に遊びの見本になり、時に同じ目線で思いつきはしゃぎ、時に保育士や父母の様に子ども達を包み込む。彼らなしでは子ども達の成長はなし得ません。この1年間、毎週のプログラムための話し合いや勉強会に多くの学生が自主的に参加し続けてくれました。その意欲と前向きな姿勢が、きっと子ども達と彼ら自身の未来につながって行くことと強く思います。

最後に、年間を通してサポートしてくれている大学生のメンバー、お子さんを連れて毎回ご参加いただいたお母さん、お父さん、この取り組みを支援して頂きました皆様に深く感謝申し上げます。

2010年5月

国際自然大学校沖縄校

ネコのわくわく自然教室 統括

丸谷 由

青空ようちえん



服装と持ち物

リュックの中身



基本の服装

帽子

夏は日差しをさえぎるため、転倒等から頭を保護するために帽子を常にかぶります。

シャツ

化学繊維のものが適しています。



海・川・森に入るプログラム時は…
「長そで(薄手)」を必ず着用。海・川では、「ラッシュガード」をお勧めします。

運動靴+くつ下

集合時には、くつ下と運動靴を履いてくる。くつ下はすねまでの長いタイプを着用。



リュック

荷物が入りますので15~25Lの容量のあるものが最適です。片方の肩だけに掛けるタイプでは活動できません。

ズボン

厚手のデニム生地等は避けて、化繊の生地を使用したものをご用意下さい。



海・川・森に入る時は…
「長ズボン」を必ず着用。
×七分丈のものは不可

2009年度 日本財団助成事業

～幼児期に適した自然体験プログラムの開発・普及事業～

青空ようちえん プログラム・レポート2009

発行日: 2010年6月1日

発行人: 丸谷 由

発行所: 国際自然大学校 沖縄校(ネコのわくわく自然教室)

〒901-2406 沖縄県中頭郡中城村当間822-1

電話: 098-895-6404

メール: mail@neco-hp.com

ホームページ: <http://www.neco-hp.com/>



日本財団 助成事業
The Nippon Foundation



ネコのわくわく自然教室

青空ようちえん



NOTES
OUTFITTER

～国際自然大学校沖縄校～